

◆事務所閉館のお知らせ◆

7月5日(月)は午後から書記局会議のため、支部事務所を閉館とさせていただきます。予め、ご了承ください。

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合

江東ブロック会議

江東区北砂1-11-4

TEL [3640] 2411

発行者 実川英治

定価 30円

新聞代は組合費に含まれています

『誇り高き』春の拡大月間成果!!



「目標達成」の目入れを行いました！
右から、野田組織部長、実川書記長、富樫委員長

支部の仲間の皆さん、四月から五月へかけた二ヶ月間に渡り、日々奮闘をいただいたことに、まずは感謝を申し上げます。

この春の拡大月間も、前年に引き続き「新型コロナウイルス」の感染拡大とのたたかいでもありましたが、支部・分会の目標追求だけでなく、いかに仲間との対話をすすめていけるか、誰ひとり取り残さない取り組みをどうすすめていけるか、様々な制約のある状況下からこそ「今できること」を各分会が模索し、そして実践してききました。

まずは四月二十一日の拡大出陣式(決起集会)から、春の月間が本格的にスタートしました。出陣式には本部からの来賓を含め、総勢で61人が参加、全地域11分会から17件の持ち寄りがありました。アスベスト補償基金制度の学習会を行った後の行動提起では、支部の組織人数に対する危機意識を全員が持つべきこと、脱退の数が一月以降、減少傾向にあること、分会と支部の役割を明確にし、それぞれが前進を図ることが提起されています。

分会でも対話がすすんだ



スケッチブックを活用して紙芝居形式で対話をする小名木分会！

また緊急連絡網を作成して連絡を密に取れるようにした分会(砂中分会・南砂分会)や、広い地域を分割して取りまとめる責任群長を置いた分会(深中分会)、また訪問する際の飛沫防止策としてスケッチブックを使ったり「紙芝居」形式で対話をすすめた分会(小名木分会)もありました。こうした工夫を凝らしながら、「今できること」をみんなで行い取り組んでいきます。

組合の事業所とも総対話

五月十三日に行われた拡大推進委員会では、各分会からの代表者、支部役員、書記局、併せて29人が参加。各分会で積み上げてきた対話の経験報告、そして目標達成への見込みや意気込みを大いに語りました。

建設アスベスト訴訟“最高裁一斉4判決”
国と建材企業を断罪
未提訴被害者救済制度実現へ

最高裁第一小法廷に係属した4つの建設アスベスト訴訟の判決が5月17日に言い渡されました。この判決を受けて、翌



新入学対象者リストを対話の材料に電話かけを行う大島分会！

ました。また、新入学のお祝い申請や火災・自転車共済の案内、健康診断の受診のすすめなど活用する分会も数多くありました。

また他、毎月継続してきた定例の事業所訪問行動を四月十六日、五月十七日の両日で実施。建設キャリアアップシステムの相談で支部へ来所した事業所などへの働きかけなども含めた「事業所との絶対対話行動」を展開しました。

結果として、11あるすべての地域分会が目標を達成し、165人の新たな仲間を組合へ迎え入れることができました。分会、役員、書記局それぞれが、この月間で得た自信を「確信」に変え、夏の拡大、そして秋の拡大へ向け、さらなる飛躍を目指していきます。

長い二ヶ月間、本当に疲れ様でした！



18日には政府は原告代表を首相官邸に招き、菅首相自ら「真摯に反省を込めて、政府を代表して皆さんに心よりお詫びを申し上げます」と謝罪しました。同時に、今続けられているすべての建設アスベスト訴訟の和解と未提訴被害者約1万人の救済を裁判によらない行政認定制度で実行する決意を表明しました。

6月2日には衆議院で

未提訴の建設アスベスト被害者に裁判和解額と同額の給付金を支給する「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律案(略称:建設アスベスト被害給付金法案)」を全会一致で可決、9日には参院本会議で前回一致で可決、成立しました。

国が被害者一人当たり最大1300万円を支払う内容で、支給開始は来年度になる見通しです。給付金の対象となるのは、1975年10月から2004年9月までに屋内での建設作業を行っていたり、1972年10月から1975年9月までにアスベストの吹き付け作業に従事していた、アスベストの原因の中心臓や肺がんなどになった人と、その遺族です。

厚生労働省は電話相談の窓口を開設し、相談の受付や制度の周知を進めることにしています。

戦前戦後七七年の笑事

中尾 正文 (深川第七分会)

第二章 (第五回) 明治時代(その2)

日本は朝鮮(以後韓国)支配を強化するにつれてロシアとの対立が激化し、1904(M37)年日露戦争を始め、米国のセオドア・ルーズベルト大統領の勧告で開かれたポーツマス講和会議で何とか勝利したが、賠償金は取れなかった。国民は事実さえ十分に知らされず、不満であった。「強いんだ」との間違った認識だけが残ることになった。多大なる「笑事」である。

シベリア抑留と言う犯罪も、この敗戦の裏返しと見られます。しかも戦後の11月、日韓保護条約を締結

し、伊藤博文の初代総監暗殺を経て、1910年8月韓国を併合。列強各国は、日本の勝利に内心恐怖を感じ、その後の「黄禍論」台頭の発端となるほどの影響が生じた。21世紀の断行で、日本社会が大事にしてきた自然感あふれる多元(神仏習合)を否定し、一元主義に走り、そして突然「脱亜入欧」。

漢字を辞めてローマ字にしようという主張したる森有礼や西田五郎などこの背景である。右往左往の新政府は、優秀な人材をことごとく殺したり殺されたりしたが、帝国憲法の

在的討幕志向があった二藩を金儲けの機会とみたクラブ・商会(竜馬)の仲介で成立したのが、大きな歴史の転換であった。

明治時代で忘れられ去られた。「暗殺」テロリズムは昭和に入っても顕在化基だし、戦後の「悪い奴は殺しても良い」価値観に繋がっています。もちろん善悪の基準はぶれていますが。

明治革命が失敗し、徳川幕府が続いていたのロマンは、結果を見ての歴史としては夢があります。

(つづく) 深川 中尾 正文

良い部分を社会の肉にできず、権力掌握を優先の行き当たりばったりの政治にした。

江戸時代特に後期に花開き成熟期に向かっていた世界最高水準の科学技術だけでなく、文化的なあらゆる社会システムや外交能力などことごとく失ったのが明治後期であった。

分会リレートーク

木場 裕二さん (東砂分会)



分会書記長としても

東砂分会を支える木場さん!!

皆様日々お疲れ様です。皆様日々お疲れ様です。皆様日々お疲れ様です。

今回の分会リレートークは、東砂分会の土建組合員歴28年の木場裕二さん(58歳)をご紹介します。お仕事は塗装屋さんで、毎日頑張っておられます。趣味はお酒を飲む事とカラオケです。一度聴きましたが意外と(すみません)お上手でした。

今やりたい事は、バスバイクです。前に

焦点

政権交代

米国が労働者重視へ転換 政治との共同で要求実現を

Q バイデン政権がどう?

A 日本のメディアには米国内の政策について注目があふれている。特に労働関係では労働組合の結成を促す法案を提出、最低賃金15ドル

(約1630円)の実現も目指している。連邦政府の施策に関わる公契約では大統領令で15ドルを決めた。トランプ前政権との違いは明らかだ。

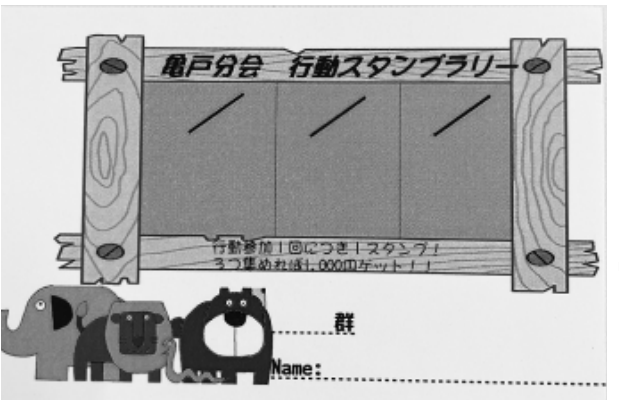
Q でもトランプ支持の労働者も多いのでは?

A バイデン政権は「分厚い中間層」を取り戻したいと言っている。

Q 日本の政治は変えられるか?

A 労働者や市民が実現したい要求を掲げて、それに賛同する野党や政治家を選ぶ運動が必要だ。米国の労組や市民団体は、そういう取り組みを懸命に展開してきた。この点は私たちも見習いたいね。

亀戸分会の挑戦!!



亀戸分会の新たな挑戦『スタンプラリーカード』

交流がなくなってしまう。そこで一体何をやるのかと言うと、分会・支部の行事、拡大、集会、デモ等色々ありますよ。なんでも良いので都台の良いときに1年間に3回参加する! 参加してくれた時にカードにハンコ1個を押して3個貯めたら行動費1000円をお渡しします。これによって、今迄集金にしか顔を出

お天気家族

